

TOTO

ゼロフィルターセンターフード

製品の機能が十分に発揮されるように、この説明書および
総合組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
この説明書では製品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、
いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

● お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表 示	意 味	表 示	意 味
警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。	注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。
してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。	

警告	
	修理技術者以外の人 は、絶対に分解したり修理・改造をしない 火災、感電や異常作動によるけがの原因となります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう 取り付ける 火災、感電や異常作動によるけがの原因となります。
	レンジフード本体と排気ダクトは可燃物との間隔を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う ※詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。
	自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をする 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす可能性があります。
	D 種接地工事を行う 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

警告	
	配線工事は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って安全・確実に行う 火災・感電の原因となります。
	アースを確実に取り付け 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。 アース接続が不完全な場合、感電するおそれがあります。
	交流 100V 以外では使用しない 火災・感電の原因となります。
	浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない (浴室換気扇をお使いください。) 感電や故障の原因となります。
	電源コードを束ねない 火災・感電の原因となります。

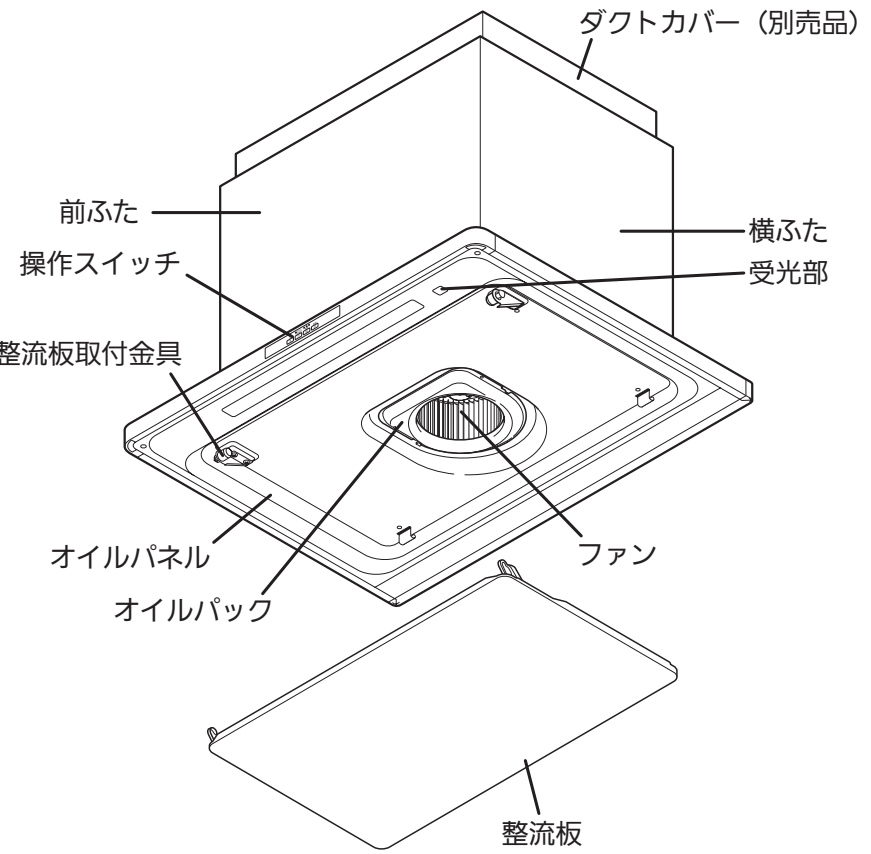
注意	
	ファンや部品の取り付けは確実に行う 落下により、けがをすることがあります。
	本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下により、けがをすることがあります。
	運転中はファンの中に指や物を入れない けがをする原因となることがあります。
	ダクトの接続は確実に行う 排気漏れの原因となります。

取り付け上のお願ひ

下記は「建設工事」に区別され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
・大工工事（設置のための地下工事等）
・配線工事（コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等）
・管工事（ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等）

流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。

2) 各部の名称



お願い

- ・ 本体および取り外した部品は、紛失・破損に注意してください。
- ・ 取り付け時に、工具などでキズをつけないように注意してください。

3) 付属品・別売関連部品

1 付属品

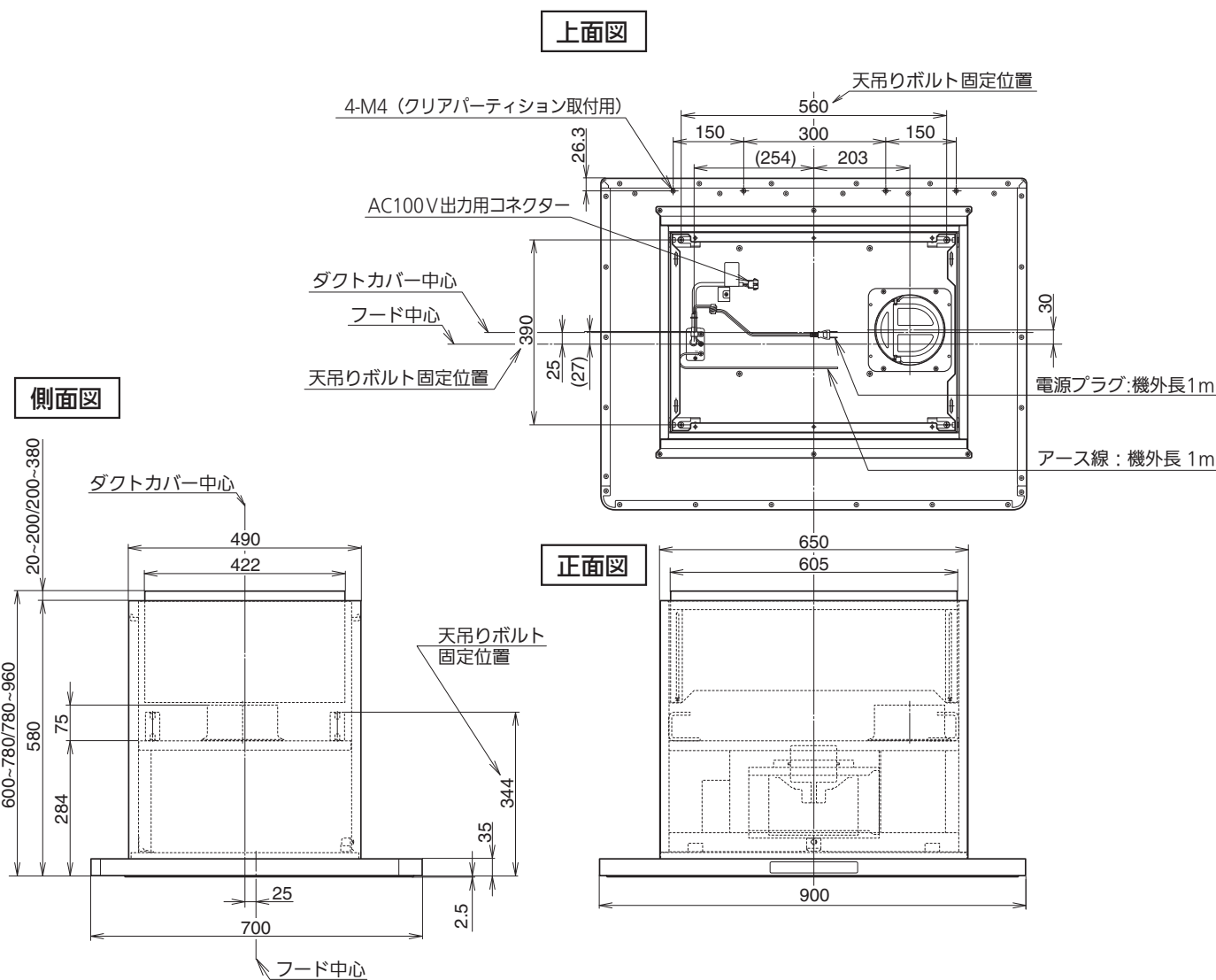
※ 不足しているものがないか、確認してください。

トラスねじ M4×6 (4 本)	ソフトテープ (1 本)	取扱説明書 組立・設置説明書 (各 1 部)
------------------------	-----------------	------------------------------

2 ダクトカバー（別売品）

座付ねじ φ 5.1×25 (4 本)	ダクトカバー (1 個)
---------------------------	-----------------

4) 製品寸法図



5) 取り付け前の確認

取り付け前に天吊りボルト、ダクト、コンセントが正しい位置にあるか、別途提供されている「施工図」を基に確認してください。

1 取り付け上のご注意

- 取付壁の下地は不燃材料で有効に仕上げてください。
※詳しくは所轄の消防署へご確認ください。
- フード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。
※詳しくは所轄の消防署へご確認ください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果を著しく低下させたり、騒音が大きくなりますので、使用しないでください。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対にやめください。
- 電源は専用コンセントを設けてください。
- 製品の取り付けには手袋を着用してください。薄板の切り口などでけがをするおそれがあります。
- 電気配線工事は必ず有資格者が行ってください。
- コンセントは定格表示 125V・15A のアースミニナル・接地極付コンセントを使用してください。

注意

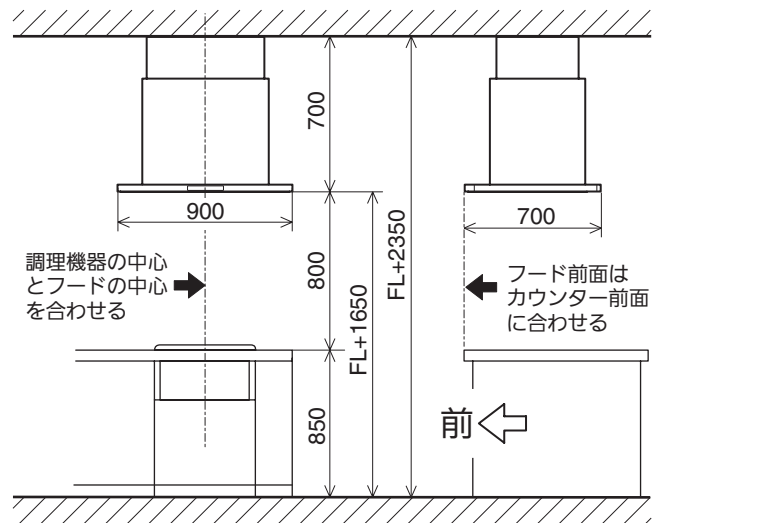
レンジフード本体の取り付けは、十分強度のある取り付け面または補強さん等に確実に行う
落下によるけがをすることがあります。
壁材が薄く軽いと振動音が発生することがあります。

レンジフード取り付け面の木部に、取り付け用木ねじが確実に届いているかを確認する
落下により、けがをすることがあります。

5) 取り付け前の確認（つづき）

2 取り付け位置

以下はカウンター高さ 850mm、
天井高さ 2350mm の場合を示します。

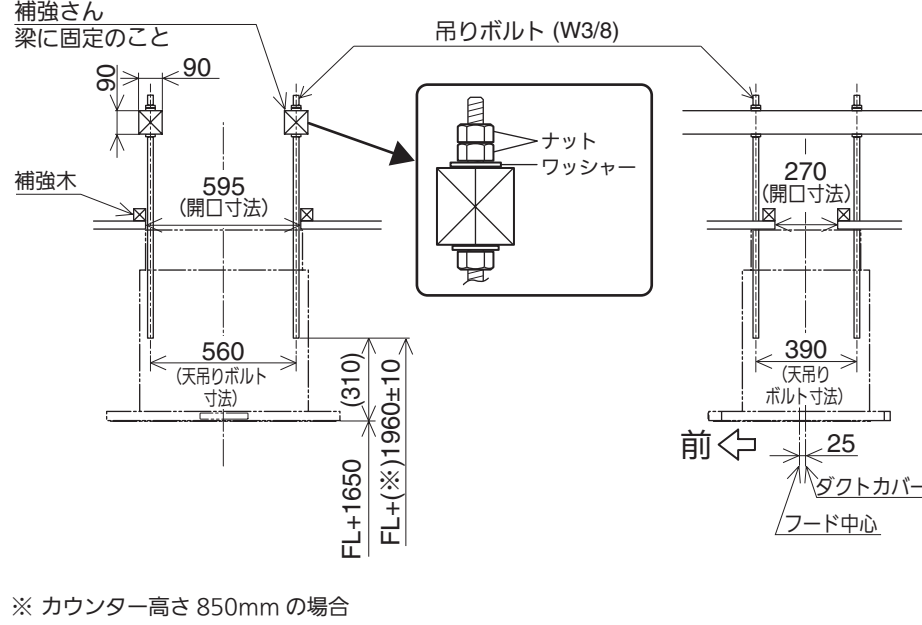


3 取り付け木さん位置寸法・天吊りボルト位置（建築工事）

※ 天吊りボルトの取り出し長さは、
カウンター高さ、天井高さによって変わります。
右図を参考に、天吊りボルトの取り出し長さを確認してください。

※ 天吊りボルトは製品を支える十分な強さを確保してください。
必要となる強度は建物の条件、耐震クラスにより異なります。

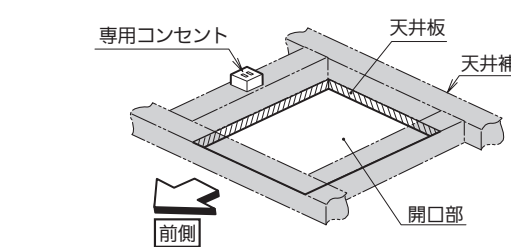
※ フード固定用の W3/8 ナット・ワッシャーがあることを確認してください。
ナット・ワッシャーは建築工事側での手配となります。



※ カウンター高さ 850mm の場合

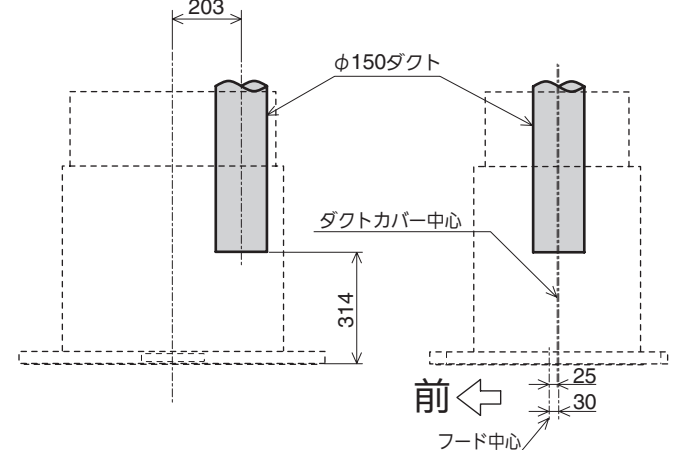
カウンター高さ (mm)	床面から吊りボルト 下端までの距離(mm)
800	1910±10
850	1960±10
900	2010±10

4 電源コンセント位置



※ 推奨コンセント：パナソニック製 WKS216

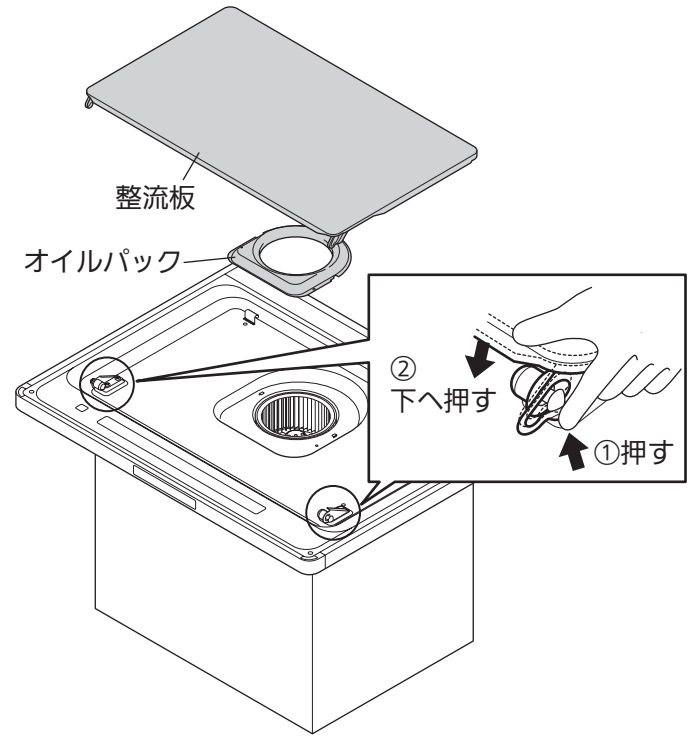
5 ダクト位置



6) 部品の取り外し

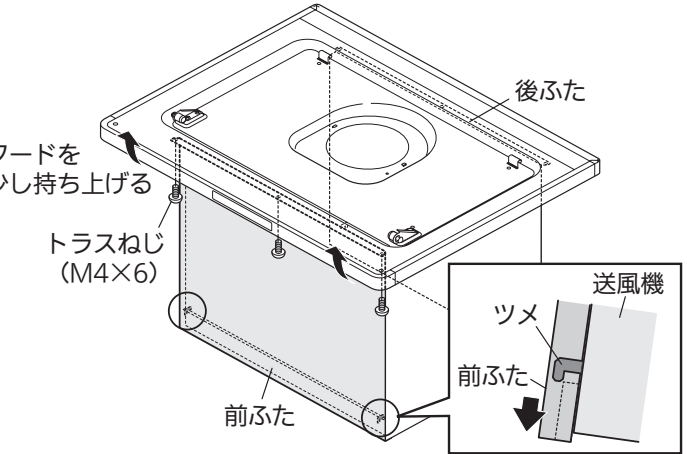
フードを取り付ける際に部品に傷が付かないよう、各部品を手順通り取り外してください。
フードの設置完了後、外した部品を取り付けてください。

① 整流板・オイルバック



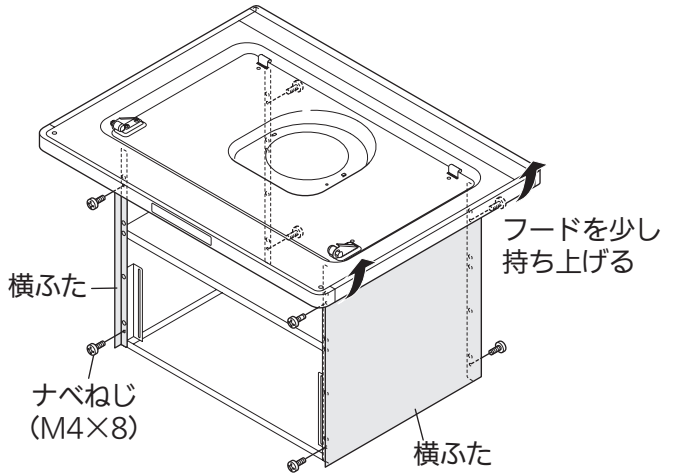
② 前ふた・後ふた

トラスねじ（M4×6）各 3 本をゆるめて外した後、フードをやや上に持ち上げて前ふた・後ふたを取り外します。



③ 横ふた

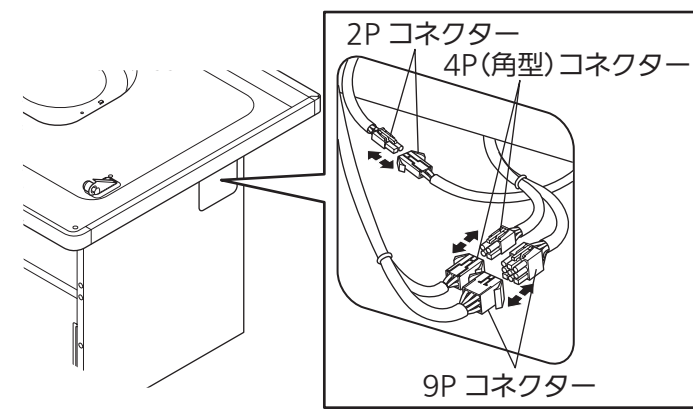
ナベねじ（M4×8）各 4 本をゆるめて外した後、フードをやや上に持ち上げて左右の横ふたを取り外します。



6) 部品の取り外し（つづき）

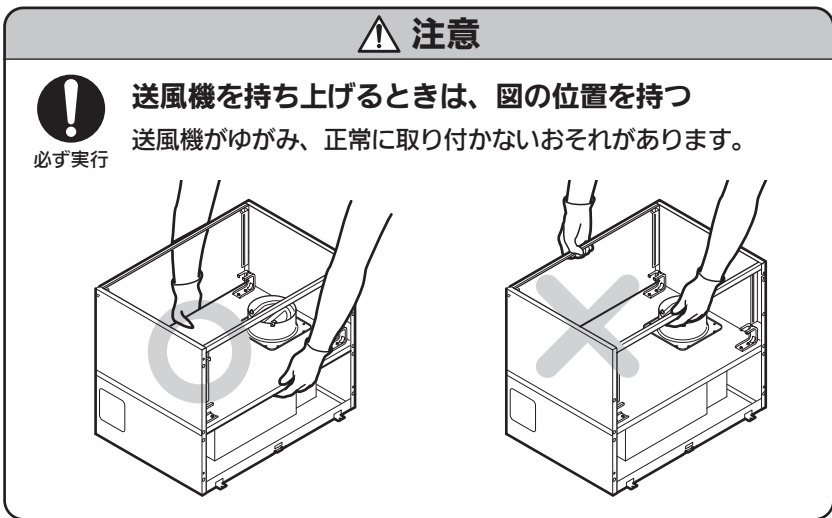
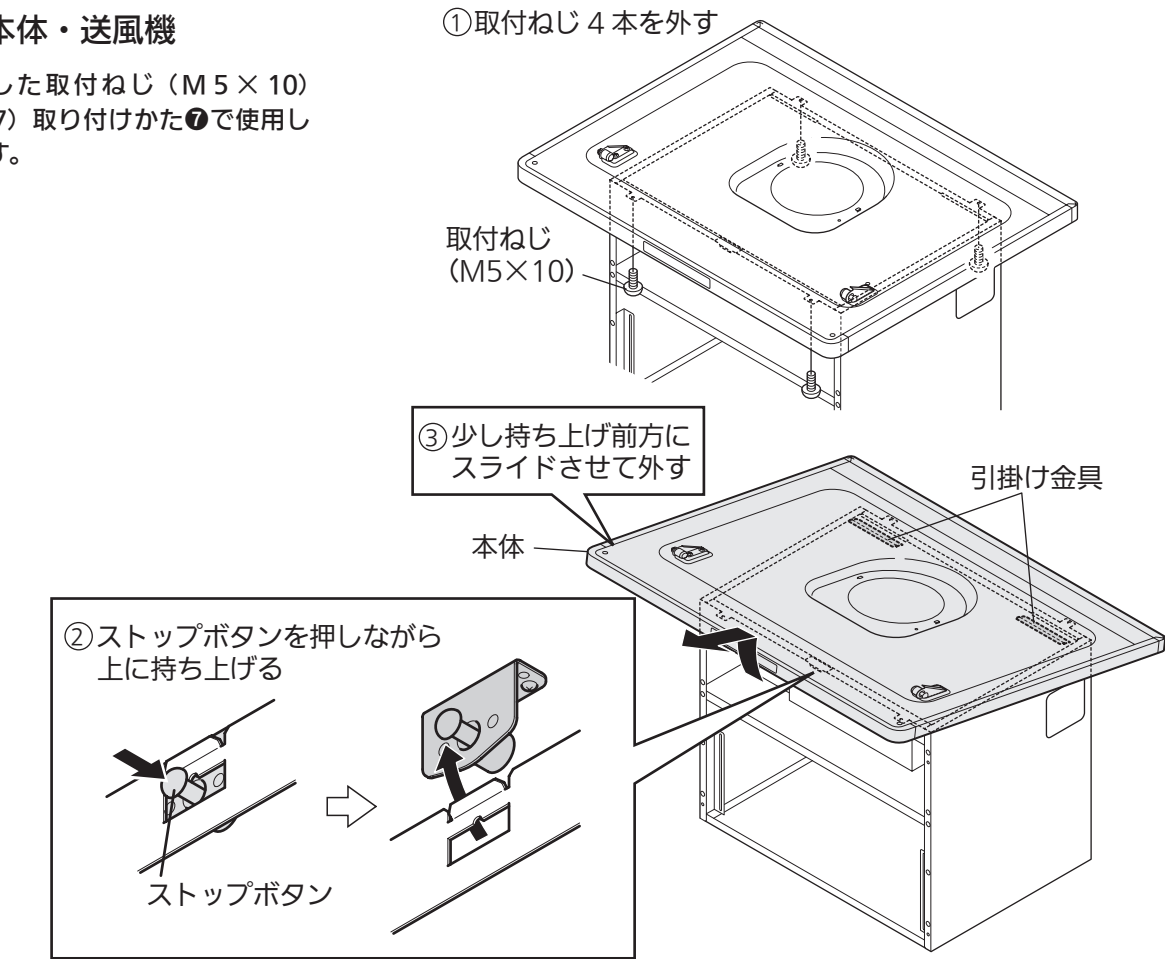
④ コネクター

3 個のコネクターをすべて外します。



⑤ 本体・送風機

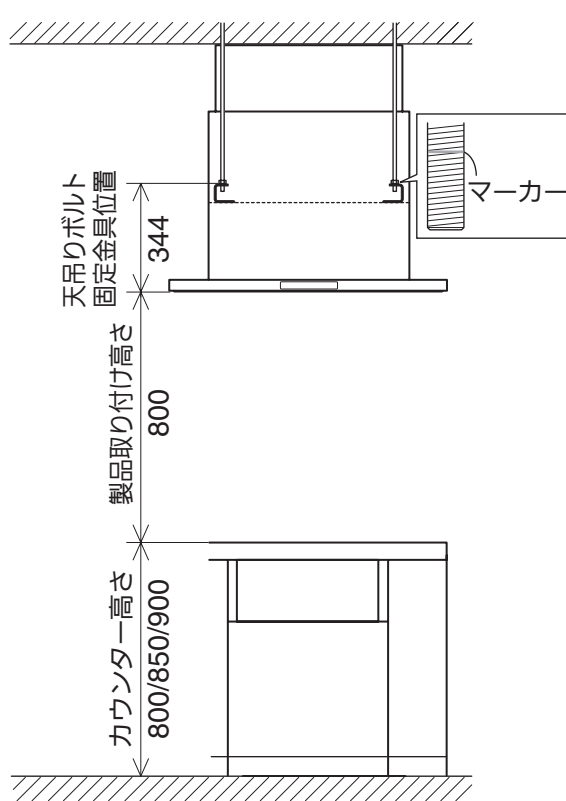
※ 外した取付ねじ（M5×10）は 7) 取り付けかた⑦で使用します。



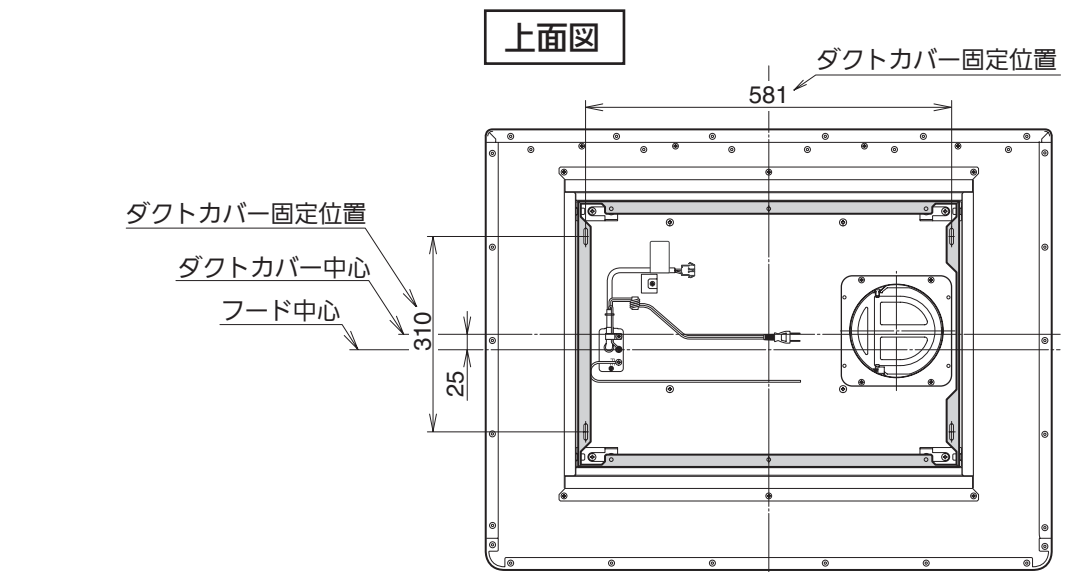
7) 取り付けかた

① 図を参考にして天吊りボルトに油性ペンなどでマーカーをつける

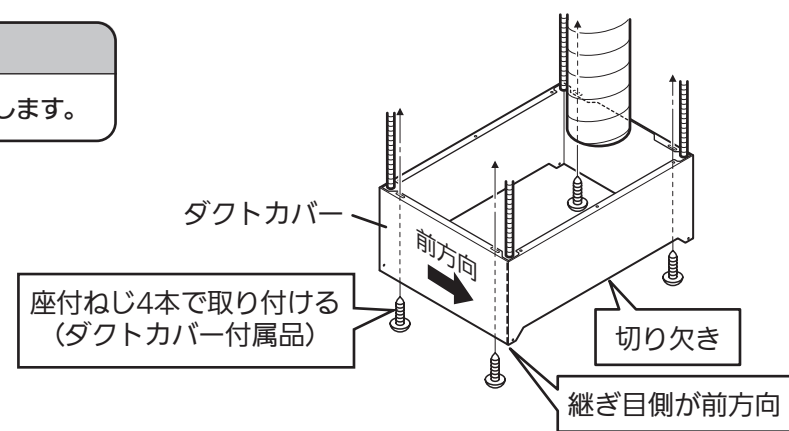
※ ボルトが長いときはカットしてください。



② ダクトカバーを付属の座付ねじ（φ 5.1×25）4 本で天井面に固定する

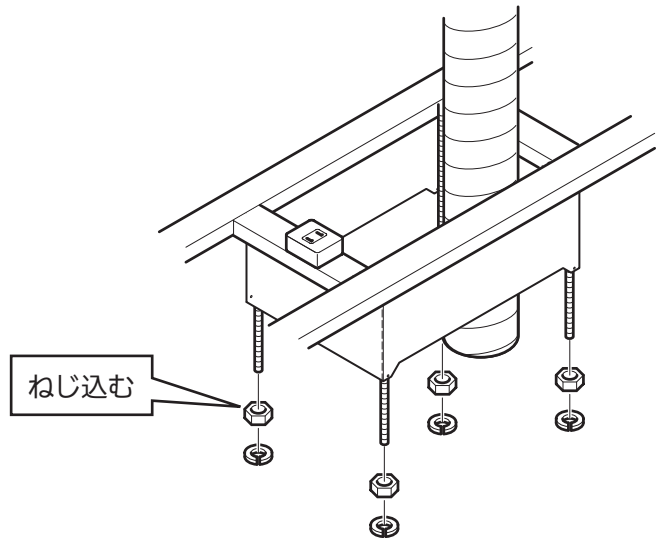


注意
継ぎ目側を前方向にします。

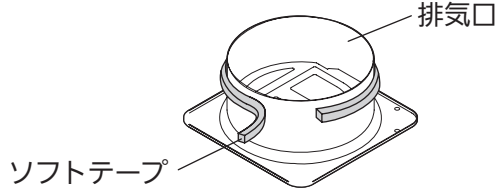


7) 取り付けかた (つづき)

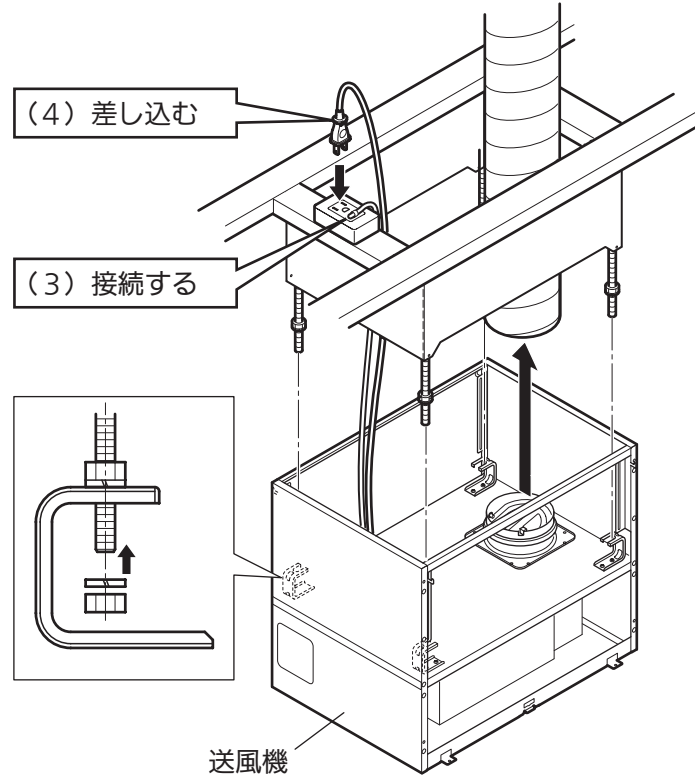
③ W3/8 のナット (建築工事側手配) を天吊りボルトのマーカ位置までねじ込む



④ 1) 排気口にソフトテープをまく



2) 送風機を持ち上げて 4 カ所の吊金具に天吊りボルトを差し込み、吊金具を挟み込むように天吊りボルト下側から W3/8 のナット (建築工事側手配) をしっかりと締め付ける

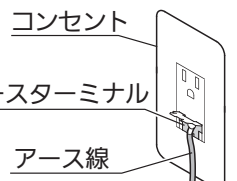


注意
排気口にダクトを差し込みながら送風機を取り付けてください。
送風機は水平に取り付けてください。

3) アース線をアースターミナルに接続する
※ ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令で禁止されています。)

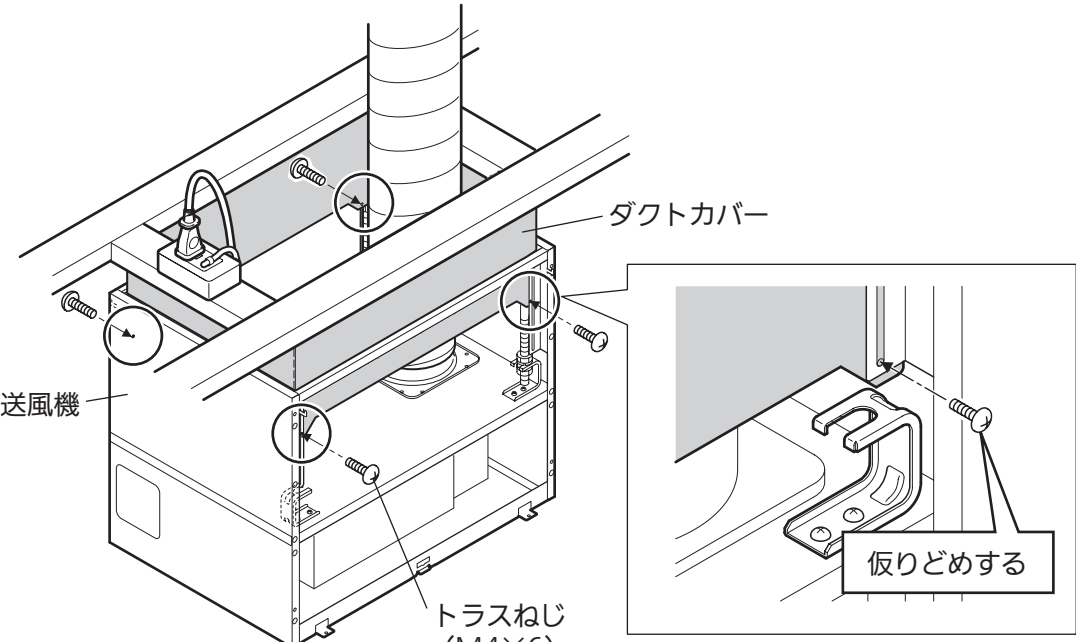
4) 電圧が 100Vであることを確認してからコンセントに電源プラグを差し込む

※ コンセントは定格表示 125V・15A のアースターミナル・接地極付コンセントを使用してください。

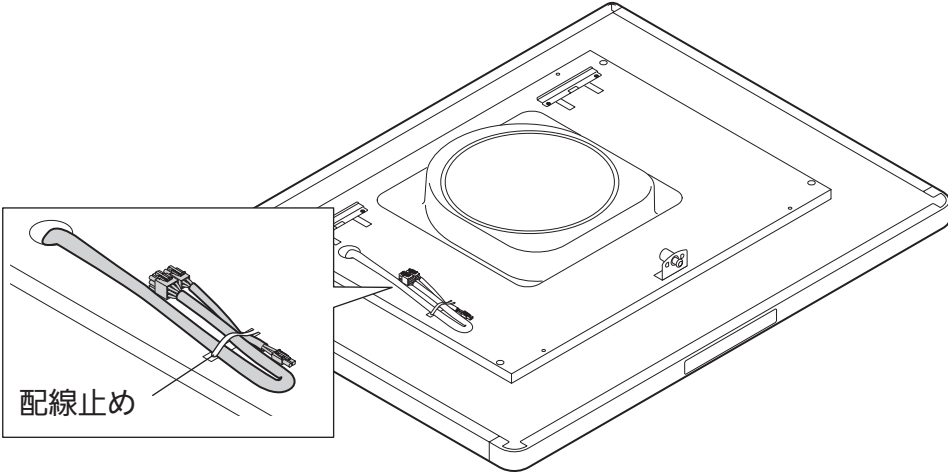


警告	
	アースを確実に取り付ける 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース接続が不完全な場合、感電するおそれがあります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因となります。
	電源コードを束ねない 火災・感電の原因となります。

⑤ ダクトカバーと送風機をトラスねじ (M4 × 6) 4 本で仮りどめする

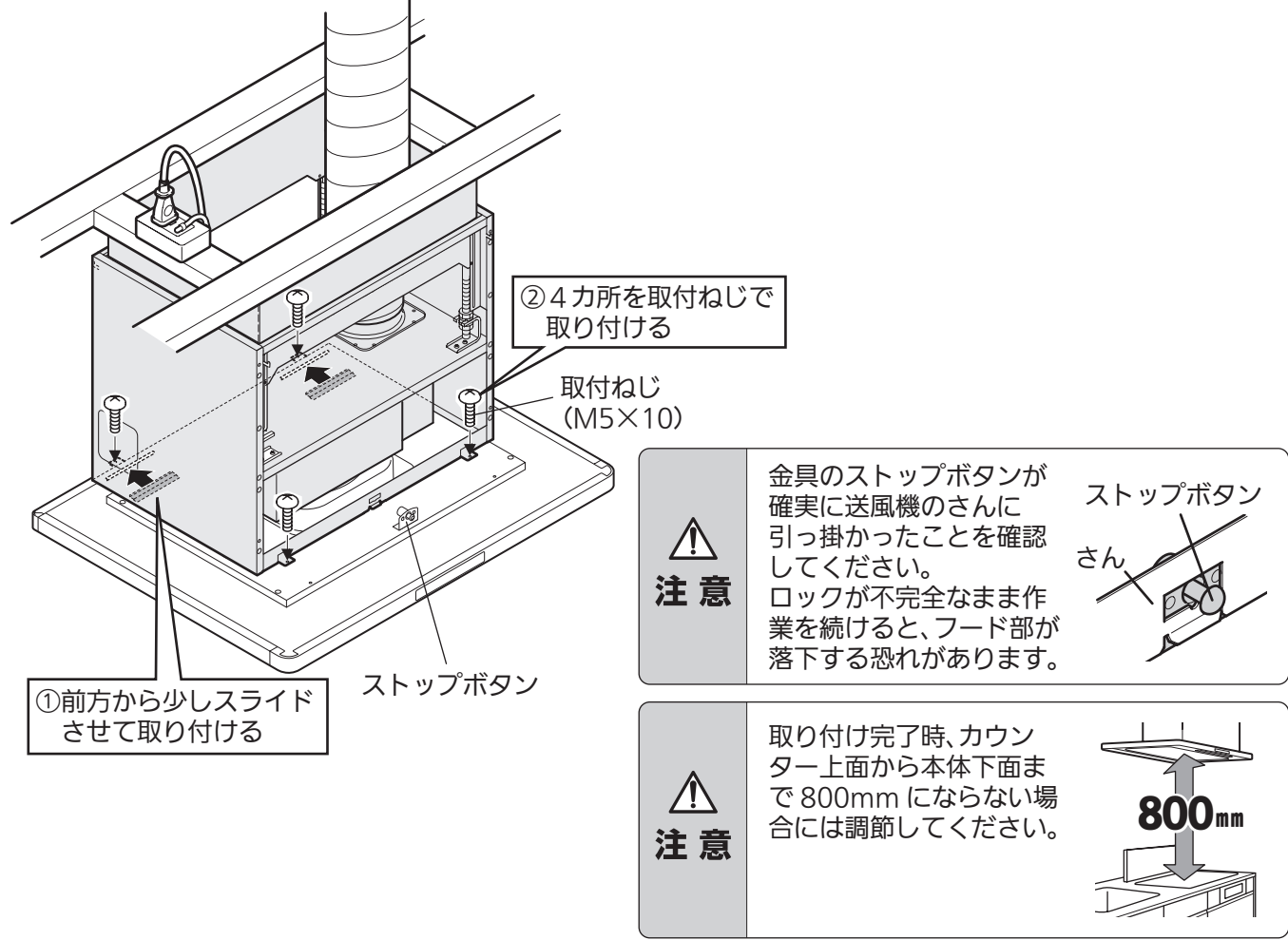


⑥ フードから出ている配線 2 本を配線止めで仮固定する (はさみこみ防止のため)



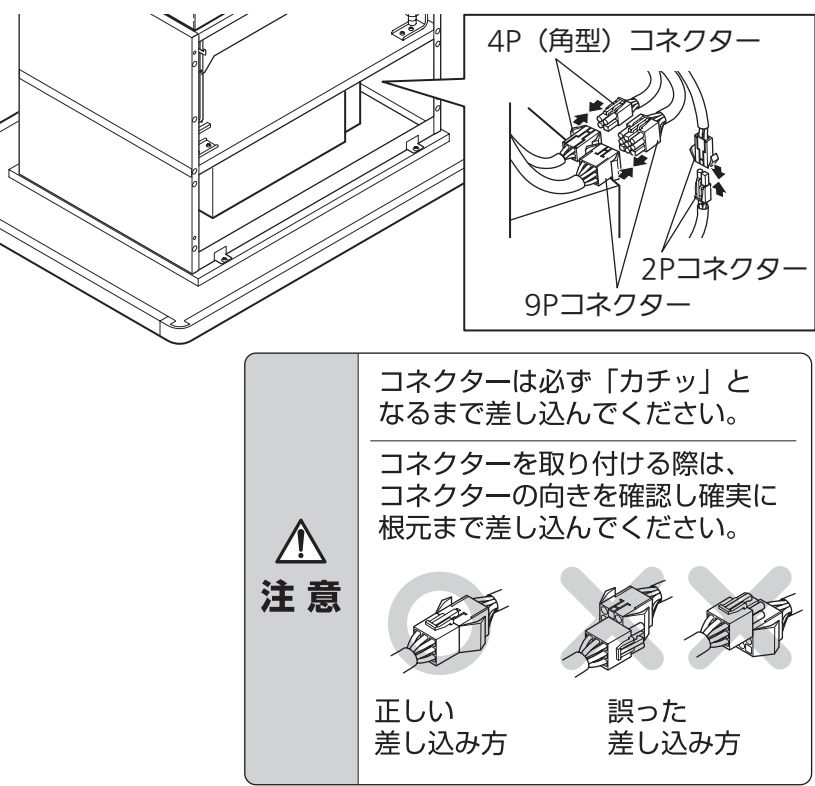
7) 取り付けかた (つづき)

⑦ 本体を送風機にスライドさせて組立て、取付ねじ 4 本 (M5 × 10) で固定する

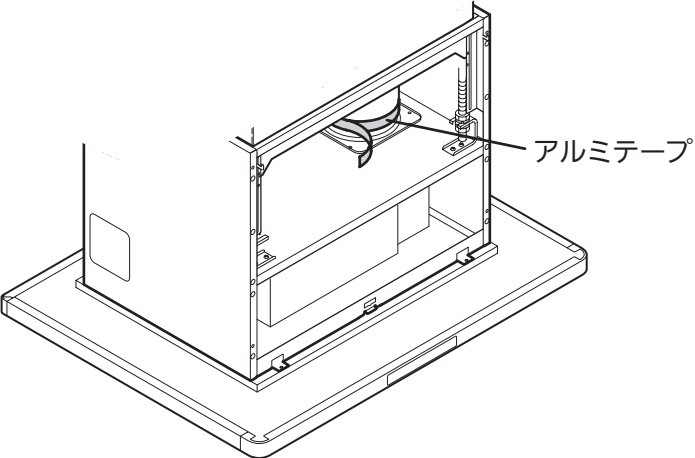


⑧ 手順⑥で仮どめしたトラスねじ (M4 × 6) 4 本を本締めする

⑨ 配線止めで仮固定した配線 2 本を配線止めからはずし、コネクター 3 カ所を差し込む (9P・4P・2P)



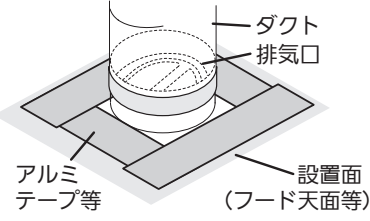
⑩ ダクト接合部へ風漏れ防止のテーピング (アルミテープ) を行う



お願い

排気口設置面の漏風確認

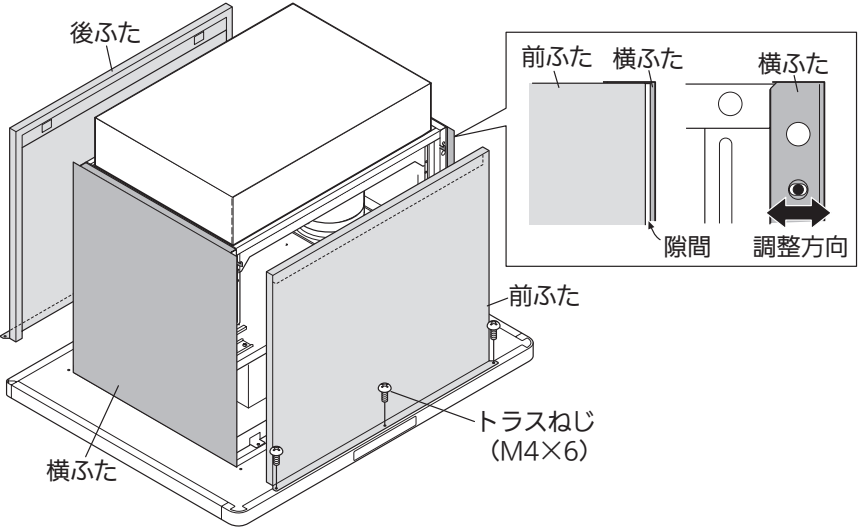
排気口とダクトを接続する際に、ダクトにレンジフードの排気口を無理に接続しようとすると、排気口および排気口設置面 (フード天面等) が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。
排気漏れ確認のため、ダクト接続後は試運転 (「強」運転) を行ってください。
漏風する場合は排気口と設置面の周りをアルミテープ等で漏風防止処置を行ってください。



8) 部品の取り付け

「6) 部品の取り外し」で外した部品を逆の手順で取り付けてください。

① 前ふた・後ふた・横ふた
前ふた、後ふたを取り付ける際、横ふたとの間に隙間ができる場合は、横ふたの位置をずらして調整してください。



9) 試運転

- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態は取扱説明書をご確認ください。
- 運転時に各速調の排気が正しく行われていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 取り付け、または組立・設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと、すべて有料となりますので十分確認してください。